



第六卷 第一號

館 館 民 公 民 館
和 書 良 函 村 公 館
社 會 資 合 利 印 木 村 公 館
道 筋 町 尾 折 市 八 幡 市 田 半 冷 荒 方 城 村 館
行 所 方 方 城 村 公 民 館
編 集 發 行 人 木 良 函 村 公 館
印 刷 所 冷 半 田 印 利 合 資 會 社

年頭の辭

再生日本も独立節一年の新春を迎へ希望と榮光に一入心氣の新たるを覺え、力強き歩みは村に街に路行く誰もの顔にも明るさを一日と増進しつつあるは、何より平和と自由を愛する皆様と共に異常な喜びを感じるものであります。

昭和二十七年は村民各位の御協力を得、数々の村治に輝かしい一頁をかざりましたが、迎春の二十八年も愈々治政第三年に一層の拍車をかけ、方城村自治の向上に邁進いたす覚悟であります。

方城村にとり何よりも心強い事は起債、所謂村の借財が一銭もない事でありませう。現在地方自治体は果も市町村も六・三制充実乃至災害復旧に多額の負債を背負ひ赤字財政に四苦八苦の状態でありませうが、本村は昭和二十七年に於ては弁城中学校幹線道路或は火葬場や消防ポンプ等一、三〇〇万円の臨時的建設事業にも



村教育の振興に邁進せん

教育長 高津久雄

文化村としての方城村は、果下に広く其の名を知られるに至つた。村民各位と共に吾が郷土の繁榮を祝福したい。

終戦後に於ける急速なる六・三制教育の実施と、町村に於ける財政難とは教育上種々の問題を醸し、町村長の責任辞職したもの、リコールをされたもの、果ては自殺したもの等相当の犠牲者を出した程である。

然るに本村に於ては村民各位の協力に依り其の間多少の問題はあつたにしても、中は年と共に増築が行はれ、内容も充実して来た、専用の運動場設置工事も目下着々として準備が進められてゐる。弁城小学校も多年の懸案であつた運動場の拡張が行はれ、更に校舎の増築、旧校舎の徹底的大修理が実施された。伊方小学校講堂の新築かと見違へられる程の大修理も完了した、又一千円円の多額を予想される伊方小学校旧校舎の大改築工事の実施も目前の問題とされるに到つてゐる。万事が順調に進んでゐると言ふても過言ではない。

方城村が教育の村としての定評をほしいままにしてゐることは何んと言ふても村民の誇りでなくてはならぬものと第一教育には、よき先生を得ることが第一の条件であり、第二に設備のそなへることが挙げられる第三に充分の経費が望まれるのだ現中学校長の小川先生は温厚篤実

表彰に輝く 記念式を回顧して

表彰に輝く記念式に加へて中学校学童の書画展を始め青年学生生徒の丹青てめた作品展農村生産技術の粋を集めた農産物評会青年団女子部の華道展等々方城中学の新築成つたスマートな教室を反映して錦上更に花を添へた多彩な三日間の行事も一般参観者の押す押すな盛況裏に滞りなく終了したのは早くも去年の十二月十五日であつた。とかく此の種の催しはお祭りの行事の感じを与へるのが一般の印象であるが、今次の式典はそれとは違ひかけはなれた充実した内容を持つた事については改めて村民各位の努力と御協力に敬意を表したい。

尚ほまた県教育庁の鈴木社会教育課長を始め地方事務所長等多数来賓



また其の手腕を充分に發揮される時期に至つてないが校舎内外の清浄作業が既に一般父兄の目を惹いてゐる、学校環境の悪るいことに対する見服対策が郷土教育の一端として強く推進されるようとしてゐる等四十名からの教職員に対する陣頭指揮に今後の多くの期待がもたれてゐる、比較的條件のよい環境に恵まれてゐる弁城小学校は中村校長先生を中心に全先生方が協力、明日の成果を期して黙々たる努力が続けられてゐる。此の三校三様の環境と教職員の陣容

は正に完べきを誇つてよいと思ふ。

松井村長の教育に対する熱心と、村議会の深い理解と、新に発足した教育委員会の熱意とは村教育の振興により強い拍車をかけるものであることは言ふまでもない方城村は、斯く観れば、教育の爲には三拍子揃ふた誠意に恵まれた態勢にあると思ふ、吾々は日本独立第一年の迎春と共に想を新にしてよりよき方城村の教育作興に一意全力を捧げて邁進を誓ふのみである。

- 次の諸団体を表彰した。
- 分館活動の優秀なる分館
 - 追分館、畑分館、野添分館、第五区分館
 - 少年団活動の優秀なる分館
 - 方城小学校父母教師会、宝珠分団
 - 伊方小学校
 - 青年団活動優秀なる支部
 - 弁城青年団支部、久六青年団支部、上弁城青年団支部
 - 婦人部活動の優秀なる支部
 - 追婦人会支部
 - 公明選挙に優秀な成績を挙げたもの
 - 後谷局通り駐在区
 - 保健衛生の施設活動優秀なるもの
 - 上弁城分館野地支所
 - 道路河川愛護の優秀なるもの
 - 広谷分館
 - 消防団活動優秀なるもの
 - 第一分団第一班
 - 共同募金及び赤募金成績優秀なるもの
 - 東古門分館、草場分館
 - 供米其他農事組合活動優秀なるもの
 - 野地農事組合、見六農事組合、白髪農事組合
 - 各種租税を期限内完納の駐在区
 - 長浦、広谷、見六、中原、音丸、清矢、岩屋、上弁城、野地、迫、宝珠草場、浄満寺、以上各駐在区

成人祭の開催に就いて

前号で予告の通り昭和二十八年の成人祭を一月十五日成人の日伊方小学校講堂で盛大に挙行政致します。当日は婦人会、青年団の後援で村職や分館長、教委、運営委等多数来賓の御臨席を得て身共々に健に成人した人々の為に前途を祝福し、次の世代を背負って立つ一人前の人間として自他共に許された人格的ほこりと自尊を促す為の意義ある重要な行事であります。

それでこの日として一月十五日を成人の日と定め祝祭日となり、全国津々浦々に至るまで国旗を掲揚して此の意義ある日を寿ぐであります。文化方城村の将来も等しく此等若人

公民館管理規則の再確認

社会教育法の公布に伴い方城村公民館の管理規則が制定され、村民各位に対しては当時周知徹底せしめた筈であります。其の後星移り年変ると共に分館長の更迭もあり、其の都度事務引継が行はれたと信じてますが、最近色々質問を受けたり甚だしい事例として各分館の維持修繕費の摘要さへ受ける場合があり、また念のため分館管理規則を掲げ再確認をお願い致します。

方城村公民館分館管理規則

第一条 方城村公民館の公認を得て設立した分館は社会教育法（以下法と言ふ）第二十条の目的以外に使用してはならない。

第二条 各分館の維持経営に要する費用は其の地区住民の負担とする。

第三条 各分館は公用の為め使用す

の双肩にかゝつておるのであります。かゝる見地から婦人会の皆様何卒一人でもより多く当日は出席して頂き我が子の健やかな成長振りを祝福してやつて下さい。

青年団員各位もこぞ出席我が同僚の又後輩の為め又青年団将来発展の為に彼等の前途を祝福し、又彼等の良き指導者、助言者としての責任を果して頂き度。

尚ほ当日は特に本村に縁故の深い浅原健三先生が遠く別府から馳せ参じ成人者の自覚とプライドを持つて頂く為に大獅子吼して頂く事に御約束が出来ましたので一般村民の方も一人残らず御出席をお願い致します。

る場合は正当の理由なくして拒否してはならない。

第四条 分館は次の行為を行つてはならない。

一、もつぱら営利を目的として行つた特定の営利事業に分館の名称を利用させ、その他営利事業を援助すること。

二、特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公利の選挙に関する行為を行つたときは公民館はその事業又は行為の停止を命ずることが出来る。

第五条 分館が前条の規則に違反する行為を行つたときは公民館はその事業又は行為の停止を命ずることが出来る。

第六条 本則第一条以外の目的に使用するに至りたる場合は既に交付した補助金の一部又は全額を返納せしむることが出来る。

昭和二十五年～七年度 水稻比較試験について 芦馬虎雄

方城村の山間下部に位する私の家で大体何の様な水稻が適品種であるかの問題で昭和二十五年より果敢試験場長尾友春技師より原種、

主として果敢品種を分推して貰つて多忙の中に興味ある試作をして見た、左に大体の概況を記して何等かの御参考となれば幸です。

昭和二十五年度 (刈取直後)

品種	坪量	重	分	対病性	倒伏
農十八号	二・四	五八	八	多	弱
ク十号	二・八	七六	八	多	弱
ク十七号	二・三	八六	七	中	弱
井上新力	三・一	六六	六	中	弱
先山一号	三・一	六六	六	中	弱

備考
 稈風の為出穂期に損傷を受く、稍減収
 最も良好出穂十八号と選れず大差なし
 新品種(熊本果敢品種)穂重型
 肥料の割合に出来易い品種で多肥の為倒伏す
 倒伏甚だし多収穫には不適
 肥料の割合に出来易い品種で多肥の為倒伏す
 倒伏甚だし多収穫には不適
 肥料の割合に出来易い品種で多肥の為倒伏す
 倒伏甚だし多収穫には不適

昭和二十六年度

品種	坪量	重	分	対病倒伏	出穂順番
農林五号	一・九	九	七	多	1
光太郎	一・七	七	七	多	3
農林八号	一・七	七	七	多	5
ク十号	一・七	七	七	多	13
ク十七号	一・七	七	七	多	10
ク十八号	一・七	七	七	多	11
ク十九号	一・七	七	七	多	12
井上新力	一・七	七	七	多	9
先山一号	一・七	七	七	多	8

備考
 穂粒若干分減少、粒数多くて大である
 粒小さく倒れ易い穂あり、肥料少量の要あり
 早過ぎの為鳥、ねづみの害甚大で殆んど食ひ盡す 収量大の見込
 晩生の為冷害が激しかった
 同
 穂は昨年と同様美しい、風害病害に良く耐えた早生の為らしい
 農八号より出来難い様だ
 天候に過りかと思はれる
 天候に過りかと思はれる
 天候に過りかと思はれる
 天候に過りかと思はれる

昭和二十七年度

品種	坪量	重	分	対病倒伏
農十八号	二・一	二	二	弱
ク十号	二・一	二	二	弱
ク十七号	二・一	二	二	弱
ク十八号	二・一	二	二	弱
ク十九号	二・一	二	二	弱
井上新力	二・一	二	二	弱
先山一号	二・一	二	二	弱

備考
 倒伏甚しメイ虫被害若干
 順調だが若干倒伏する
 大して期待されなかつた
 概して順調だが
 不適品種の様だ
 珍しい穂型だが期待されな
 見たい程もなく最も悪かつた
 最も佳作だが天候に支配される面が多い様だ
 大した期待は掛けられない
 倒伏が甚しかつたが穂重の大なる事早生では例年良い
 遅くなるのが欠点だ大体良い様だ

以上三ヶ年間の概要を記したが人間の眼も往々にして狂う事が有るが今後と銘けてゆきたいと思つてゐる、何分の御指導を得たいものです。

二・三男動態調査の実態

一、目的 本村は人口密度の高いこと、二世帯世帯構成人員の高率なことと二戸当耕作面積の狭小なることとで有名である。而して年々純増加の一途を辿りつゝある人口問題等の課題解決の資料として農家の二男、三男動態を併而村内に於ける潜在失業の実態を把握することを目的とした。

二、實態調査の方法 左記様式の調査表を各戸一枚宛印刷調査の為に駐在員を煩し調査表の記入方

三、調査対象 全戸に配布したが、満十七才以上の男子とし女子であつても婿養子をして分家する希望者は記入することとした。

四、調査様式(別表)

法の説明と協力を懇請し一斉調査を行った。

二、三男動態

農業者希望者数	農業者希望地					計
	開拓地他町村内	県外開拓地(九州)	北海道開拓地	その他希望地	計	
計	1名	2名	1名	2名	6名	9名
其他希望者数	1名	2名	1名	2名	6名	9名
合計	2名	4名	2名	4名	12名	21名

註 其他希望者は主として鉄商業を希望した者

五、集計の結果

農家戸数	非農家戸数	農業種別戸数
六七四戸	一四六戸	二九七戸
		第一種農家戸数 一九〇戸
		第二種農家戸数 一〇七戸

一月農事メモ

麦 追肥1分ケツ肥、一月下旬1
 一月下旬、反当硫安二、四貫程度施用。
 麦踏み1土を踏み固めないよう鉄の背で麦をたたくか、ローラ掛けを行い徒長を防止する。
 土入1土を細かく砕いて、麦の葉に土をかけないよう浅く土入を行う
 菜種1追肥1月中下旬に反当硫安を二三貫施用。
 蔬菜 玉葱、甘藍、高菜等秋定植した蔬菜に硫安反当三貫又は二〇貫程度追肥する。
 果樹 定植又は植換を行う。

方城村二、三男動態調査表

所在地	伊方弁城	世帯主氏名	農種別	専業農家	第一兼業農家	第二兼業農家	非農家
-----	------	-------	-----	------	--------	--------	-----

第二表 土地利用調査

区分	畑			計	山林	牧草地	原野	其他	計	合計
	田(水田)	普通畑	果樹畑							
所有地										
借地										
計										

第三表

種別	自立希望年次					計	備考
	昭和27年	昭和28年	昭和29年	昭和30年	昭和31年以降		
世帯主の続柄							※自立する上について色々な希望を記入して下さい
現在の職業							
他理由							
町村内							
先行希望地							

【註】 第三表について (イ)同家族の者は全部記入のこと。(ロ)農業以外の職を希望の者は三表の備考欄に記入のこと。(ハ)自町村及県内で開拓適地があれば其の地名を三表の備考欄に記入のこと。(ニ)二男、三男に限らず長男でも自立希望者は記入されたし。(ホ)此の調査は満十七才以上のものを対象とする。(ヘ)第一兼業とは農業を主とする農家。(ト)第二兼業とは兼業を主とする農家

土地利用及び所有別調査

種別	水田		畑		計	山林	牧草地	原野	その他	開墾可能面積	計	合計
	自己所有地	自己借入地	普通畑	果樹畑								
計	4,645,100	3,111,000	3,111,000	3,111,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
借入	5,277,400	1,400,000	9,000,000	1,100,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
その他借入地	5,277,400	1,400,000	9,000,000	1,100,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000

歳末大売出し 賞金壹萬円の行方

石炭プールの本村も水い間のストで沈滞した商店街の景気挽回に気勢を挙げ、本村小売商連盟の主催で旧臘歳末の賞品附大売出しを宣伝し、一等一万円を始め盛沢山な賞金を付けて花々しい大売出しが催された事は既に皆様御承知の通り。小売商連盟としては宣伝効果の上から大売出しの中頃から、あつぱつ〜一万円の賞金が出てほしい頃であった。だがアチチ不意と待たずその一等は出て来ないとなつては顧客としても主催者側としても夫々の観点は異うが果して一万円はくじは入れてあつたか無かつたか。色々と疑問は湧いて来る。

遂にたまりかねた主催者側は顧客代表として八幡町の前野さんをわざわざ立会を依頼して景品くじの綿密な調査を行った。結果や如何に

と主催者と立会者同床異夢ではあるが、片唾を呑んでこれを見守つた。果せる哉福の神は既に顧客を見はなしていた、そして福の神はどうやら昨年文化の日全国優良公民館の一に加つて文部大臣の表彰を受けた公民館が好のの様子、公民館としても福の神が駆け込むことを望まないわけでもないがその一万円の賞金くじは十間にころけ落ちあたら救い上げ様とする人さへなかつた。斯くてあわれな福の神は遂に顧客にそつぽを向け、今誰の温いふところに抱かれ様かと迷つてゐる、だが小売商連盟としては一担賞金として提供したものであるからその金は一般顧客全体の為に奉仕すべきである云う立前をとり、立会はしたもので、前野さん一人ではどうにも決し兼ね五日の御用始に先幸よく連盟の辻さん、金

子さんに立会者の前野さんの三人打連れて香万円を持参し此の処分について助役さんの処に相談が持込まれた。

賞金と寄贈までの経緯に鑑み、成可村民一般に均等に永遠に此の御旨を生かし文化方城村にふさわしく此の福の神様の恩恵に添ふ為にはどう処分したかよいか。大衆性にはフィルム購を入するもよいが、永続性が少

図書館利用のお奨め

皆様の御協力によつて図書内容も著々と充実して来ました貸出文庫も完備し、いつでもお求めに應ずることになつていますが肝心な受入態勢が整つてない分館もあるようです。早く整備して文庫の利用をお奨めします。本館の利用者が特定の人に限られてはなりません。村民大衆の為に利用して頂くようお願いします。此の為に関係者に対し御不満や希望もありましたら、御遠慮なく申出下

十二月入荷新刊書

- さい喜んで改善致します。
- 著者 書名
- 伏見 猛弥 総合日本教育史
 - 伊藤 和衛 現代教育財政
 - 安藤 高雄 教育社会学原論
 - 富田竹三郎 農村社会の教育
 - 海後 宗臣 近代学校の性格
 - 大浦 猛 学校社会学
- 朝日新聞社 一九五三年版 新聞語彙典

十二月ブックルーム

録	4人
新登	1人
学生会	1人
計	5人

開館日数 23日

- 教師養成研究 青年心理学
- 恩池孝四郎 本的美術
- 文部省 新しい特別教室
- 小池 新一 世界の現代建築
- 日米通信社 新日本外交史
- 岡田 実隆 若き皇太子
- 古谷 専三 英文解釈着眼点
- 岩切 晴一 初級英語入門
- 阿部 秋生 解析精義上・下
- 浅尾芳之助 国文解釈新研究
- 石川 重貞 論語、孟子の解釈
- 吉田 辰次 万葉、古今、新古今
- 吉川 秀雄 源氏物語新研究
- 守屋 新助 徒然草精解
- 横光 利一 源氏物語
- 山本 有三 昭和文学全集
- 寺田 寅彦 昭和文学全集
- 横山美智子 山本有三集
- 菊池 寛 母への聖歌
- 大木 厚夫 源平盛衰記
- 北条 誠 ヴェニス商人
- 加藤 武雄 嵐の十字架
- 横山美智子 友情の翼
- 北畠 八穂 里見八犬伝
- 鎌田 研一 さゝやかな滴も
- 古谷 綱武 郷土の偉人

利用された書物	冊数	入館者数	借出者数
辞典	18	31	11
大辞典	3	11	13
入門書	8	3	8
歴史	21	5	22
経済	5	0	32
医学	0	5	6
養鶏	16	3	2
日本新語	5	5	2
家語	5	5	2
新語	5	5	2
計	108	120	120

御礼

旧臘十五日本村文化祭の節は午後に雨となり、環路の処折角御来館を願ひ定めし御迷惑だつた事と存じます。且つ又過分な御祝詞、祝電や激励の御言葉頂き何等の風情もなく誠に漸愧に堪へません。

御陰を以ちまして盛大に意義ある式典を挙行し得ました事は一重に來賓各位の本村公民館に対する御支援の賜物と深く感謝致します。

此の上は村民一同一意専心民主体の文化向上に努力し以て皆様の御期待に反しない様に精進し御厚情に酬ゆる覚悟であります。今後共一層の御指導と御支援の程をお願い申します。実は其の節早速お礼申上る筈の処先礼乍ら時報紙上を以て厚くお礼申さして頂きます。